

4 理科

学校番号

T3010

令和2年度 理科

教科	理科	科目	(通)化学基礎	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	新編 化学基礎 (啓林館)						
副教材等	授業プリント						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

観察や実験を通して、学習内容が日常生活と結び付けくように意識する。
それによって、化学が日常生活にもたらす豊かさにつき気付かせ、興味関心が高まる授業にする。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとする。それを通して科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得する。それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	B	c	D		
前期	化学と人間生活	化学と私たちの生活	○		○		a 化学物質に関心を持ち、その有効性と危険性について意欲的に探究しようとしている。 b 単体、化合物及び混合物について理解し、それぞれの違いについて表現することができる。 c 化学と人間生活に関する観察、実験を行い、化学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ワークシート 観察・実験 定期考査
		物質の状態		○	○	○		
後期	物質の構成	物質の構成粒子	○	○	○		a 原子の結合の種類とその性質について興味を持ち、意欲的に探究しようとしている。 b 元素の周期表の族や周期との関係を考察し、各結合について電子の観点から考えることができる。 c 物質の構成に関する観察、実験を行い、化学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d 原子番号 20 番までの元素を覚え、その性質や関係に関する知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ワークシート 観察・実験 定期考査
		化学結合		○	○	○		

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 観察・実験の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている